

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 9 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103862		
法人名	有限会社 ティーエムコーポレーション		
事業所名	グループホーム すみれの里		
所在地	松山市南高井町1808-4	(電話) 089-976-0377	
管理者	若松 紀代		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 10 月 27 日	評価確定日	平成 20 年 12 月 12 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 11 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 10 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 12 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	16.5 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	13,500 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 11 日事業所記入)

利用者人数	17 名	男性 7 名	女性 10 名
要介護 1	4 名	要介護 2	3 名
要介護 3	6 名	要介護 4	3 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 80 歳	最低 66 歳	最高 99 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田畑が点在し、企業の多い地域にあるホームで、運営法人は他にもグループホーム、デイサービス等を持ち、これらの事業所と相互に連携し合って運営されている。職員は、利用者が近くの公園や神社等への外出の機会を多く持てるよう心がけ、また、職員同士の関係づくりを大切にしながら、職員と利用者が仲良く暮らしている。ホームは地域の秋祭り、神社の餅まき、運動会等に参加したり、見学に出かけたりして交流に努めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回の評価後、ホームは市の担当者との連携に努め、働きながらの学びを心がけ、利用者の情報をより共有化し、移送用の寝台車を購入し、個人情報保護への一層の配慮をする等の改善に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

運営者、管理者、職員は評価の意義を理解した上で、職員の意見を集約して自己評価をまとめている。職員は自己評価が日々のケアの参考になるものと感じている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

会議ではホームの実状や行事、地域との関わり等について報告し、それらに対する質問や意見が出されている。さらに、会議自体の持ち方についても検討されている。ホームは会議での意見や地域の情報をサービス向上に活かしている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の意見は来訪時、職員が自宅に伺った時等に聞き、運営に反映させている。苦情相談の窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族にも説明している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

地域の秋祭りで神輿や獅子舞がホームにやって来たり、神社の餅まきに参加したり、運動会を見学する等、ホームは地域の方との交流に努めている。今後、ホームの行事や催事に地域の方を招き、相互の交流を図りたいと考えている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 すみれの里

(ユニット名) かりんと

記入者(管理者)
氏名 若松紀代

評価完了日 平成 20 年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 笑顔と共感できるきもちを課題に上げている (外部評価) 各ユニット独自の理念を、職員が話し合ってつくりあげているが、利用者が地域の中で暮らし続けることを支える理念としての表現が十分とは言えない。	※	地域密着型サービスの意義・役割を反映した理念となるよう、さらなる検討を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を目標とかかげ目のつく所に掲示し確認できるようにしている (外部評価) 月1回のミーティングで理念を確認し合っている。日々の利用者との会話やケアにも笑顔と真心で接するよう努め、支援前の声かけを心がける等、理念の実践に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関に理念を提示したりパンフレットに記載することで理解いただいている	※	家族の方には入所時等に説明や記入項目により確認してもらっているが、地域の方には難しく、これからも努力して行きたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 取り組んで行けるよう努力したい	※	地域との関わり合いが少ないので、地域行事などに少しでも参加し関わりををもちたいと思っている
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 取り組んで行けるよう努力したい (外部評価) 地域の秋祭りで神輿や獅子舞がホームにやって来たり、神社の餅まきに参加したり、運動会を見学する等、ホームは地域の方との交流に努めている。今後、ホームの行事やボランティアによる催しに地域の方を招き、相互の交流を図りたいと考えている。	※	地域行事に少しでも参加したいと思っている
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域運営推進委員会にて検討中		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解しており、職員の意見を集約して自己評価をまとめている。職員は自己評価が日々のケアの参考になるものと感じている。前回の評価を受けて、市担当者との連携に努める等の改善に熱心に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) (外部評価) 会議ではホームの実状や行事、地域との関わり等について報告し、それらに対する質問や意見が出されている。更に、会議自体の持ち方についても検討されている。ホームは会議での意見や地域の情報をサービス向上に活かしている。会議のテーマが固定化の傾向にある。	※	会議の内容をホームの課題検討の機会としたり、時には出席者が利用者の行事に参加したり、認知症理解の学習会を開催する等、柔軟な会議運営を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) (外部評価) 市担当者と、利用者に関することやサービスについて相談しながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) <hr/> (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態についてまとめたものを、毎月家族に郵送している。金銭管理については一人ひとりの小遣い帳をコピーして一緒に郵送している。利用者の急な状態変化時は家族にその都度電話で連絡している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) <hr/> (外部評価) 家族等の意見は、来訪時や職員が自宅に伺った時等に聞き、運営に反映させている。苦情相談の窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) (外部評価) 運営者は職員の異動や離職が最小限になるよう努めている。新規採用者に前もってホームを見学してもらったり、一人ひとりの情報を十分伝えることで利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) (外部評価) 管理者や職員は、外部での研修、同系列の事業所同士のミーティング等に随時参加し、学習している。ホーム内では単発的な研修、季節ごとに感染対応のパンフレットを職場に貼りだして啓発する等を通じて学び合っている。	※	利用者へのサービスの質の向上につなげるためにも、職員が働きながら学べる機会をもうけることが望まれる。月1回のミーティングでのミニ学習会や、計画的な研修の機会づくりを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 出来ていない (外部評価) 地域の同業者が集まってループホームの連絡会をつくり、交流や学習の機会を持っている。職員は連絡会での学びをサービスの質向上に活かしている。	※	
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 出来るように努力している	※	
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 出来るように努力している	※	日常の本人の状態を考え今必要な支援の方法を家族と相談し話し合っている
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 出来るよう努力している (外部評価) 本人及び家族等に前もってホームを見学してもらったり行事に参加してもらう中で、徐々にホームに馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 出来るよう努力している (外部評価) 職員は、利用者とともに花を植えたり、唄ったり、体操や作品作りを楽しんだり、料理を作ったり、食後の片付け等を行い、利用者から料理の下ごしらえ、活け花、習字等を教わっている。	※	共に生活を営む中で興味のある話をしたり好きな活動を楽しみながら楽しく過ごせるように接している
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	生活の様子を伝え、何を望んでいるか共に考え、話しあえるように勤めていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) できるよう努力している	※	家族との関係を理解しそれに応じて支援できるよう努めている
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) できるよう努力している	※	
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来るように努力している (外部評価) 一人ひとりの思いや希望は、日々の会話や行動、しぐさ等から把握するように努めている。	※	暮らしの希望をなるべく実現できるように努めている。それが困難な場合は少しでも近づけるように努めていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 出来るように努力している	※	家族から、いろいろな話を聞きその人のバックヤードを知ることによって努めて行きたい。又、今まで利用されていた病院等続けて利用できるよう配慮していきたい
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 努力している (外部評価) 担当職員と計画作成担当者が中心となり、他の職員とも話し合いながら、利用者や家族の思いを反映した介護計画を作成している。担当職員は介護計画を定期的に評価している。	※	スタッフミーティングなどを行い家族さん本人とも話し合い介護計画を作成している
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 出来るよう努力している (外部評価) 月1回のミーティングで利用者の状態をふりかえり、必要時に計画を見直している。利用者の状態に変化が生じた場合は、その都度見直すことにしている。	※	期間に応じて見直しをし出来たこと出来なかったことを把握するようにしている

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) できている	※	日常生活で気がついた事など、スタッフみんなで情報を共有し実践にいかしている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) できている (外部評価) 利用者の急な受診や外出、外泊、冠婚葬祭への参列や、家族のホームでの宿泊など、ホームの多機能性を活かした柔軟な支援を行っている。	※	入浴の回数や食事など、本人と家族の要望に応じれるよう努力している
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 出来るよう努力している		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	本人の希望に応じて
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 出来ている (外部評価) 利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。移送用の寝台車を同系列の事業所で共有しており、必要時には使用が可能である。。	※	本人及び家族の意見を大切にし、今までのかかり付けの病院、本人に合った医療を受けられるように支援している
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 出来ている	※	医師からアドバイスを頂きそのアドバイスを活かして支援している
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	看護職の方と相談しながら協力し努力している
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 努力している	※	病院関係者との情報支援や相談を積極的に行い利用者が早期に退院できるように努めている
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 出来るよう努力している (外部評価) 重度化や終末期の対応は可能として、利用者や家族と早い時期から話し合っている。看取りのマニュアルを作成しており、重度化や終末期には医療機関の訪問診療や訪問看護で対応することにしてしている。	※	家族、医師などの意見を聞きスタッフ全員で方針を検討する

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	本人さんのことを考え自分たちに出来る事を話し合い今後についての対応を準備している
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	スムーズに住み替えられるように、関わりのある人全ての人と情報を交換し支援を行う
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 出来るよう努力している	※	人は一人一人違うので、その人を理解し、言葉かけや対応にも気をつけながらプライバシーを確保している
			(外部評価) 職員は利用者に丁寧な言葉かけをしたり、食事の食べこぼしをさりげなく片づけたり、大事なことを耳もとで小声で尋ねる等、一人ひとりの誇りやプライバシーを大切にしたい対応をしている。記録類は個人情報保護の配慮をしながら保管している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)	※	自己決定できるように声かけを工夫したり、本人がやりたい事ができるように心がけている

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) (外部評価) 利用者が希望すれば入浴日以外でも入浴できるよう対応し、一人で外を見ながら食事したい方にはその場所を確保し、居室での食事を希望する方にはそのように手配する等、一人ひとりのペースを大切に支援をしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	その日の洋服はご本人希望のものを着用していただき、散髪も希望に応じるよう努めています
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来るよう努力している (外部評価) 一人で食事をしたい利用者にはその場所づくりを手伝い、居室で食べたい方にはその希望を叶え、ゆっくり自力で食べられる方をせかすことなく見守る等、食事を楽しめるよう個別に支援している。職員は利用者と一緒に同じ食事をし、後片付けをしている。	※	好き嫌いや栄養面を考慮した食事を職員と一緒に取るように心がけています。又、あとかたづけ等、負担にならないように出来ることを手伝っていただくようにしています
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 出来るよう努力している	※	おやつ等、希望をお聞きして出来るだけ添うようにしています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 出来るよう努力している	※	各自のトイレの習慣に合わせての声かけケアを行うようにしています
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 出来ている (外部評価) 入浴日を決めているが、一人ひとりの希望やタイミングに合わせての入浴が可能である。介護度が高い利用者のための特殊浴槽の設備もある。	※	無理強いせず本人の希望に合わせて入浴していただくようにしています
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)	※	時間にとらわれず本人の休みたい時間に休んでいただけるよう支援しています
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 出来るよう努力している (外部評価) 公園や神社への散歩、書道の練習、ペットのウサギとのふれあい、体操、作品作り、プランターへの花植え、料理の下ごしらえ、食事の後片付け等、個別に楽しみごとや役割の支援をしている。	※	歌、工作、ドライブなど一人一人の趣味に合わせて楽しめるように努力しようと思っています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 出来るよう努力している	※	本人のレベルに応じた支援をしていきたいです
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 出来るよう努力している (外部評価) 職員は、利用者が戸外に出かける楽しみを大切に支援している。ホームが車道に面しているため、利用者の安全には十分配慮しながら近くの農道や神社・公園に散歩に行ったり、コンビニでの買い物、ドライブ、行事での遠出などを楽しめるよう支援している。	※	その日の職員の人数に応じた支援をしていきたいです
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 出来るよう努力している	※	季節ごとにいろいろな行事を計画し、お花見、ぶどう狩り等、いろいろなお出かけプランを組み入れている
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	本人の希望があれば、希望に添えるように支援を行っている。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)	※	行事事は前もって連絡し、訪問と同日にならないように心がけています

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 出来るだけ努力している		転倒などの危険性が伴わない限り拘束は行っていない
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 出来ている (外部評価) 運営者、管理者をはじめ全職員は鍵をかけないケアの意義を理解しており、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。	※	夜勤帯だけは、警備上施錠を行っている
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 出来ている	※	記録を含め、日中はリビング等なにも必ず職員を配置し、利用者の所在、様子を職員間で情報を共有している
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 出来ている	※	管理の難しい利用者についてはこちらで保管管理している
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 出来ている	※	防災訓練、ミーティング等、で学び知識を得るよう努力している


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 出来るよう努力している	※	看護師を交えたミーティングにて知識を得るよう努めている
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) (外部評価) 年2回の防災訓練を、夜間想定も含めて行うことにしている。災害時に地域の協力が得られるよう話し合いをもっているが、近隣住民も参加しての訓練等の体制は確立されていない。	※	災害時には、職員主体の対応に限界があり、地域の自主防災組織や近隣住民の実際的な協力が望まれるため、引き続き地域の方との話し合いを続け、共に訓練を行う等の取り組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価)		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価)		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(外部評価) 食事の摂取量や水分量はその都度把握している。朝食はパンを、五目飯でなく白飯を…など、利用者の希望に対応している。一人ひとりの力量に合った食事介助を行い、咀嚼や嚥下の力に合わせてミキサー食にする等の支援をしている。献立は運営法人の栄養士がたてている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価)		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 出来ている	※	玄関周りには季節の花を植え季節を感じながら出入りしていただけるよう工夫している
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 出来ている (外部評価) 居間や食堂は明るく落ち着いており、見やすいカレンダーや時計、季節の花、利用者の作品や行事の写真が配され、居心地よく過ごせる空間となっている。他の共用空間も不快な音等なく、心地よい。	※	家庭的なふいんきで過ごせるようにソファなどをおき、くつろいでいただいている。また花や装飾などで季節感を感じてもらっている
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 出来ている	※	気の合う利用者同士が談話できるように配慮したりリビングのテーブルの位置など工夫している
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 出来ている (外部評価) 使い慣れた小ダンス、机、いす、衣装ケース、時計、仏壇等が持ち込まれ、手作りの作品や習字が飾られた、居心地よく過ごせる居室となっている。	※	昔からのなじみのもの、本人が利用していたものや衣類などもって来ていただいている。また一緒に買い物に行き好みの物を購入したりしている

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 出来ている		換気は常に心がけ空調の温度調節は外気温とあまり差がないように、こまめに調節している
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 出来るよう努力している	※	廊下やトイレなどには手すりをつけ利用者の身体機能に応じた介助を行い、出来るだけ自立した生活を送ってもらえるように配慮している
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 来るように努力している	※	日々の生活の中で混乱や失敗のないように見守り、時には声をかけ、その人らしい生活が出来るように配慮している
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 出来るように努力している	※	玄関の周りの花壇では水遣りや花摘みなどをして、花の観賞を楽しんでいる

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

評価完了日

平成 20 年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所としての理念はあるが、地域密着型としての理念は作っていない (外部評価) 各ユニット独自の理念を、職員が話し合っつけくりあげているが、利用者が地域の中で暮らし続けることを支える理念としての表現が十分とは言えない。	※ ※	地域の行事に去年より積極的に参加して今後理念をつくりたい 地域密着型サービスの意義・役割を反映した理念となるよう、さらなる検討を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 取り組んで行く様に努力したい。 (外部評価) 月1回のミーティングで理念を確認し合っている。日々の利用者との会話やケアにも笑顔と真心で接するよう努め、支援前の声かけを心がける等、理念の実践に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 取り組むように努力したい		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 努めている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 企業としての町内会に入会している。 (外部評価) 地域の秋祭りで神輿や獅子舞がホームにやって来たり、神社の餅まきに参加したり、運動会を見学する等、ホームは地域の方との交流に努めている。今後、ホームの行事やボランティアによる催しに地域の方を招き、相互の交流を図りたいと考えている。	※	今後積極的に参加したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域運営推進会議で検討中		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。会議などで改善点を話し合っている。 (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解しており、職員の意見を集約して自己評価をまとめている。職員は自己評価が日々のケアの参考になるものと感じている。前回の評価を受けて、市担当者との連携に努める等の改善に熱心に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 出来ている。運営推進会議ではいろんな意見がでるので出来るだけサービスに活かす様にしている。 (外部評価) 会議ではホームの実状や行事、地域との関わり等について報告し、それらに対する質問や意見が出されている。更に、会議自体の持ち方についても検討されている。ホームは会議での意見や地域の情報をサービス向上に活かしている。会議のテーマが固定化の傾向にある。	※	会議の内容をホームの課題検討の機会としたり、時には出席者が利用者の行事に参加したり、認知症理解の学習会を開催する等、柔軟な会議運営を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議のほかに研修等で顔合わせするので、まづ名前をおぼえる事からしたい (外部評価) 市担当者と、利用者に関することやサービスについて相談しながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 本その他で勉強している。職員には研修に行くように進めている		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修などで職員は理解している。	※	今後忘れないように定期的に研修の参加と会議などで話し合う。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 納得できるように説明している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情報告書があり報告している。来所時に必ずお話をする様にしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月1回利用者様の様子、及び健康状態をコメントにて報告している 気になる事があれば連絡して頂ける様になってます (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態についてまとめたものを、毎月家族に郵送している。金銭管理については一人ひとりの小遣い帳をコピーして一緒に郵送している。利用者の急な状態変化時は家族にその都度電話で連絡している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 頻繁に来られない家族の方は電話にて聞いている。 (外部評価) 家族等の意見は、来訪時や職員が自宅に伺った時等に聞き、運営に反映させている。苦情相談の窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回の会議にて職員の意見を聞いている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要に応じて増員している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動はあるが、ユニットの雰囲気合う様な職員にしてもらっている。 (外部評価) 運営者は職員の異動や離職が最小限になるよう努めている。新規採用者に前もってホームを見学してもらったり、一人ひとりの情報を十分伝えることで利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 育成する意味での短期間の移動がある (外部評価) 管理者や職員は、外部での研修、同系列の事業所同士のミーティング等に随時参加し、学習している。ホーム内では単発的な研修、季節ごとに感染対応のパンフレットを職場に貼りだして啓発する等を通じて学び合っている。	※	利用者へのサービスの質の向上につなげるためにも、職員が働きながら学べる機会をもうけることが望まれる。月1回のミーティングでのミニ学習会や、計画的な研修の機会づくりを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地区の包括にグループホームの連絡会があるので参加して交流を深めたい (外部評価) 地域の同業者が集まってループホームの連絡会をつくり、交流や学習の機会を持っている。職員は連絡会での学びをサービスの質向上に活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 疲労が蓄積していそうな職員には有給を使い休養してもらい職員間でなんでも話し合える関係作りをしている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 努めてくれていると思う		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) お部屋に訪問して話を聞く機会を持っている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に家族とお会いする機会を出来るだけ多く取っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努力している		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームに1回は来所して頂くように努めている 後は家族と話す機会を多く取っている (外部評価) 本人及び家族等に前もってホームを見学してもらったり行事に参加してもらう中で、徐々にホームに馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 難しい政治の話など教えてもらっている (外部評価) 職員は、利用者とともに花を植えたり、唄ったり、体操や作品作りを楽しんだり、料理を作ったり、食後の片付け等を行い、利用者から料理の下ごしらえ、活け花、習字等を教わっている。	※	本の貸し借りなどしていきたい 共通の話題ができてよいのではないかな
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 今後どうしていきたいかお聞きしてプランの参考としている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 長い間面会に来られない方は電話して家族の近況を利用者にしらせている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人が面会に来られている ドライブがてら住み慣れた場所に行っている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 関わりを持って頂く様に職員が間に入っている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要に応じて関わりを持っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 希望に添える様努力している (外部評価) 一人ひとりの思いや希望は、日々の会話や行動、しぐさ等から把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族、本人に聞いている入所前にしっかり聞くようにしている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 会議で一人一人の有する能力等の現状を話し合っている記録に残すようにしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) その都度見直して、みんなの意見を聞きプランに繁栄させている (外部評価) 担当職員と計画作成担当者が中心となり、他の職員とも話し合いながら、利用者や家族の思いを反映した介護計画を作成している。担当職員は介護計画を定期的に評価している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 現状に応じてプランの見直しをしている (外部評価) 月1回のミーティングで利用者の状態をふりかえり、必要時に計画を見直している。利用者の状態に変化が生じた場合は、その都度見直すことにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録、申し送りノートにその都度かいている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 支援する様努力している (外部評価) 利用者の急な受診や外出、外泊、冠婚葬祭への参列や、家族のホームでの宿泊など、ホームの多機能性を活かした柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 努力している		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 支援している		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現状ではあまり出来てない	※	こちらから出向いて行くチャンスがあるので努力したい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 係りつけ医のある方は定期的に往診して頂き今後のことについても相談に応じてくださっている ない方は協力機関にて対応して頂いている (外部評価) 利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。移送用の寝台車を同系列の事業所で共有しており、必要時には使用が可能である。。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 電話などの対応もして下さり、利用者が穏やかに暮らせる様に相談にのってくださる医療機関を確保している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ユニット内に看護職員がおり、日頃の体調管理している 病院同行は可能な限りしてくれている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院ごも、面会に行き何か変化があれば医療機関から連絡がある様になっている。退院前のカンファレンスは必ず同行している		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 全員で方針を共有している。 (外部評価) 重度化や終末期の対応は可能として、利用者や家族と早い時期から話し合っている。看取りのマニュアルを作成しており、重度化や終末期には医療機関の訪問診療や訪問看護で対応することになっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 病院ではないので、医療面で出来る事と出来ない事があるのかかりつけ医と連携をとるようにしている		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 努めている 家族と共に関係機関に十分な情報がいくように心がけている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) その方に会った声掛けをしている。 (外部評価) 職員は利用者に丁寧な言葉かけをしたり、食事の食べこぼしをさりげなく片づけたり、大事なことを耳もとで小声で尋ねる等、一人ひとりの誇りやプライバシーを大切にしたい対応をしている。記録類は個人情報保護の配慮をしながら保管している。	※	写真なども特に注意している
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 個人の自己決定を尊重している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 常に声掛けしながら希望に添うように努力している (外部評価) 利用者が希望すれば入浴日以外でも入浴できるよう対応し、一人で外を見ながら食事したい方にはその場所を確保し、居室での食事を希望する方にはそのように手配する等、一人ひとりのペースを大切に支援をしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 金銭的余裕があれば美容室にいつている	※	普段何もする意欲がない人でも理容にお連れするとシャンとされる ダンディになっている
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の体調をみながら食器拭き等手伝ってもらっている (外部評価) 一人で食事をしたい利用者にはその場所づくりを手伝い、居室で食べたい方にはその希望を叶え、ゆっくり自分で食べられる方をせかずことなく見守る等、食事を楽しめるよう個別に支援している。職員は利用者と一緒に同じ食事をし、後片付けをしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつは時間がゆるせば一緒に買い物にいった好きな物を個数を決めて買っている	※	お酒は家族から希望があり医師に相談したら内服の関係で中止になった

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一応時間が決まっている人がいるが、ただいまトイレ訓練中にて気持ちよくトイレでと考えている 排泄パターンに合わせて実行している		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 訴える事の難しい方が多いので、一応決めているが本人の自己決定にまかせている 又希望される方は入浴してもらっている (外部評価) 入浴日を決めているが、一人ひとりの希望やタイミングに合わせての入浴が可能である。介護度が高い利用者のための特殊浴槽の設備もある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) それぞれ得意な事を把握して、気分転換出来るように支援している (外部評価) 公園や神社への散歩、書道の練習、ペットのウサギとのふれあい、体操、作品作り、プランターへの花植え、料理の下ごしらえ、食事の後片付け等、個別に楽しみごとや役割の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭は施設預かりとしているが、個人の物買った場合は幾らか渡して買ってもらっている		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 体調、天気に合わせて散歩等に出かけている (外部評価) 職員は、利用者が戸外に出かける楽しみを大切に支援している。ホームが車道に面しているため、利用者の安全には十分配慮しながら近くの農道や神社・公園に散歩に行ったり、コンビニでの買い物、ドライブ、行事での遠出などを楽しめるよう支援している。	※	同じ系列の施設で演奏会など聞きに行っている
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別、全員でもお出かけしている		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。	※	封書は家族の了解を得て出している
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 来客があれば自室でゆっくり過ごしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 会議でも話し合い、職員理解している		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間はやむを得ずかける事がある (外部評価) 運営者、管理者をはじめ全職員は鍵をかけないケアの意義を理解しており、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜をとわず把握している、夜間は2時間に1回巡回して必要に」応じて時間短縮している		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 個々に事故防止に取り組んでいる	※	センサーマットを会社に購入してもらい現在使用中


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年2回非難訓練予定		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議で話題に取り上げ、協力して頂ける様になっている (外部評価) 年2回の防災訓練を、夜間想定も含めて行うことにしている。災害時に地域の協力が得られるよう話し合いをもっているが、近隣住民も参加しての訓練等の体制は確立されていない。	※	災害時には、職員主体の対応に限界があり、地域の自主防災組織や近隣住民の実際的な協力が望まれるため、引き続き地域の方との話し合いを続け、共に訓練を行う等の取組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入所前に家族とリスクについて十分話し合っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 細かい事にも気を使い十分観察して急変にも速やかに対応している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬のカードがあり職員全員理解している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 散歩、いすに座っての運動など体調をみながら取り組んでいる		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後個々に合ったケアをしている	※	歯科衛生師の方が定期的に訪問して個々にあった道具ケアの方法を教えていただける
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分チェック表があり その都度記載している (外部評価) 食事の摂取量や水分量はその都度把握している。朝食はパンを、五目飯でなく白飯を…など、利用者の希望に対応している。一人ひとりの力量に合った食事介助を行い、咀嚼や嚥下の力に合わせてミキサー食にする等の支援をしている。献立は運営法人の栄養士がたてている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルがあり 職員が把握している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食中毒注意報などを参考に常にきを付けている	※	まな板別になっている（肉、魚）食器はその都度熱湯消毒している

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物の構造を最大限に活かして植木鉢を置いたりして、工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関周りに（植木鉢）を置き心む雰囲気づくり、廊下は、昼でも電灯をつけ暗すぎない用にしている。食堂、居間はその人に合った場所を自分の席として利用している (外部評価) 居間や食堂は明るく落ち着いており、見やすいカレンダーや時計、季節の花、利用者の作品や行事の写真が配され、居心地よく過ごせる空間となっている。他の共用空間も不快な音等なく、心地よい。	※	土地購入が出来るのであれば 車椅子でも散歩が出来、おやつ時等で出来る様に又利用者がガーデニングが出来る様な庭がほしい
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ご 本人さんの自席を決めて食事、おやつ時を過ごしていただいている 自席以外に、ソファを置き気の合った方同士で座り会話を楽しんで頂いている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 御家族さんと相談しながら使い慣れた物や好みのものを活かして 利用者さんが居心地欲過ごせる様に工夫している。 (外部評価) 使い慣れた小ダンス、机、いす、衣装ケース、時計、仏壇等が持ち込まれ、手作りの作品や習字が飾られた、居心地よく過ごせる居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気、温度調整はこまめに行っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、トイレ、風呂場に手すりをつけている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 手をすぐ貸さないで見守る 最後までして頂く様に声掛けする		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 周辺には季節の花を植え掃除をしてきれいにしておく		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者別にプランに取り入れている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	特に午後にゆっくりしてるので隣に座りゆっくりお話ししている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	朝食は眼が覚めた順番に食べて頂いている。夜間は眠られない方は朝まで職員が対応している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来ている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その日は無理でも後日にはいけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	転倒のリスクが高い人は特に気をつけている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	訴えや希望等はしっかり聞いている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	忙しくてなかなかお会い出来ない方には電話、書面にて問いかけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	いままで地域の方とはお付き合いがなかったのでこれから付き合っていきたい。運営推進会議でお会いする程度です。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	お祭り等に参加する事でつながりを深めたい。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑い声が絶えないのとみんなで楽しく働いている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いつも感謝の気持ちが聞けているのでおおむね満足して頂いている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者さんが満足して頂いているので家族さんも満足して頂いていると思う

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

事業所として取り組んでいる事 一人一人が利用者に寄り添う気持ちを持つ。